

1952年、創業時の写真。正義さんは当時31歳、自らバイクに乗り営業に回っていた



1962年、現在の片町「次郎吉」の場所に建てられた新社屋の前で。真ん中に写っている子供が猛雄さん。当時の正義さんは41歳、猛雄さん11歳の頃



田中さん一家は現在も4世代同居で、同じ趣味のゴルフも3世代で回ることもあるそうだ



「それまでは自分さえよければいい人生と思っていましたのが、家族で支え合っている仕事のほうが大事だと思えました。やっぱり母は偉大です。」

「父が9年前に入社したときの挨拶の言葉を、正義さんは覚えていた。」「会社の敷地に寄贈された桜の木があるんですが、それをなぞらえて「この桜が満開になるようにタッセイで努力していきます」と言うんですよ。私や息子のような視点や考え方は違う、面白いことを言ったなって。ちょうど建築業界に変革の時期が訪れ、工務店をサポートしていく部門を立ち上げることとなり、陽介さんはその部署を任せられる。」「新たな営業手法が求められる中、自分の生きる道ができたな、と思いました。時代はさらにそれを必要とし、陽介さんの部署の存在価値はさらに高まり、結果、会社のブランド力を上げるようになっていく。」



正義さんが70歳、猛雄さんが40歳のとき、社長を交代した。「だから今度は陽介が40歳になる前に社長になってもらおうと思っています(猛雄さん)」

名を横文字にする風潮が生まれる少し前の話である。しかし、正義さんは「意味が分からない」と猛反対。発表前日まで反対の意志を表明していたという。4〜5年でその名は浸透していき、正義さん70歳、猛雄さん40歳のとき、社長を交代する。

祖父、父の姿を見てきた陽介さん。この世に生を受けた時点で3代目の道は敷かれていた。「祖母からは念仏のように「あんたが3代目や」と聞かされていたので、そのつもりで東京の大学も選んで入りました」。が、時代は物質的精神的に自由な風が吹き荒れ、祖母の念仏のような言葉はその風にかき消されてしまった。自由を謳歌し俳優の道を歩み、さらに5人の枠に600

人が集まったオーディションに合格したのだから、もはや帰る気持ちも消え去った。父や祖父が東京に出てきて得するも、話は平行線のまま。ただ、最後に効いたのは母の涙だった。単身で東京に向き、涙ながらに訴えたのだ。「それまでは自分さえよければいい人生と思っていましたのが、家族で支え合っている仕事のほうが大事だと思えました。やっぱり母は偉大です。」

「人のため」のDNAが脈々と受け継がれる、親子3代の物語。

田中 正義さん (95)

田中 猛雄さん (65)

田中 陽介さん (36)

1948年。福井を襲った未曾有の大地震は、福井に一つの企業を誕生させることになる。建築資材の間屋・田中正義商店、後の株式会社タッセイである。創業者の正義さんは軍役を終えた後、東洋紡の合板工場に働いていたこともあり、震災復興に役に立てば、と今の片町にベニヤ板を扱う店舗を構える。

長男・猛雄さんが幼い頃には会社は金沢に進出し急成長を遂げ、中学生の時点で「自分が跡継ぎだろうな」との覚悟を決めていた。「姉よりも厳しく育てられたと感じていました。時代はまだ今ほど物質的精神的に自由な風は吹いておらず、「息子よりも結構素直

に父の用意してくれた道を歩いていたと思いますよ(笑)」。とは言いつつも、正義さんは一度東京の空気を覚えると帰ってこないのではないかと危惧もしていた。「だからゴルフの会員権の名義を息子にして渡したりもしましたね(笑)」。

これからこの会社を担うあたり、猛雄さんには一つの心配事があった。社名である。「田中正義商店の名が、時には田中商店だったり、田中建材だったり、人によって呼び名がバラバラなんです。それにこれからのリクルート活動にもパンチ力が弱い。社内ヒアリングなどをして、創業40周年を記念して「タッセイ」にしよう」と。国内で社

MASAYOSHI TANAKA

1921年福井市生まれ。軍役後、糸魚川にあった合板工場を譲り、1949年順化1丁目建築資材の間屋「田中正義商店」を創業。1992年猛雄さんが社長に就任。自身は代表取締役会長に。2016年相談役に就任。1991年勲五等瑞宝章叙勲。ゴルフは現役で87歳のときにエッジシュートを達成

TAKEO TANAKA

1951年福井市生まれ。中央大学経済学部卒業後、父の勧めで(株)松下電工入社。1978年に退社し、(株)田中正義商店に入社。専務時代に社名を(株)タッセイに変えた立役者で、1992年代表取締役社長に就任。2014年黄綬褒章叙勲。

YOSUKE TANAKA

1980年福井市生まれ。青山学院大学経営学部在学中、演劇の世界に没頭し、卒業後は芸能プロダクションに所属して俳優の道を進む。2007年に(株)タッセイ入社。地元工務店のサポート業務を行なう営業企画室の立ち上げに関わり、2016年代表取締役副社長に就任。